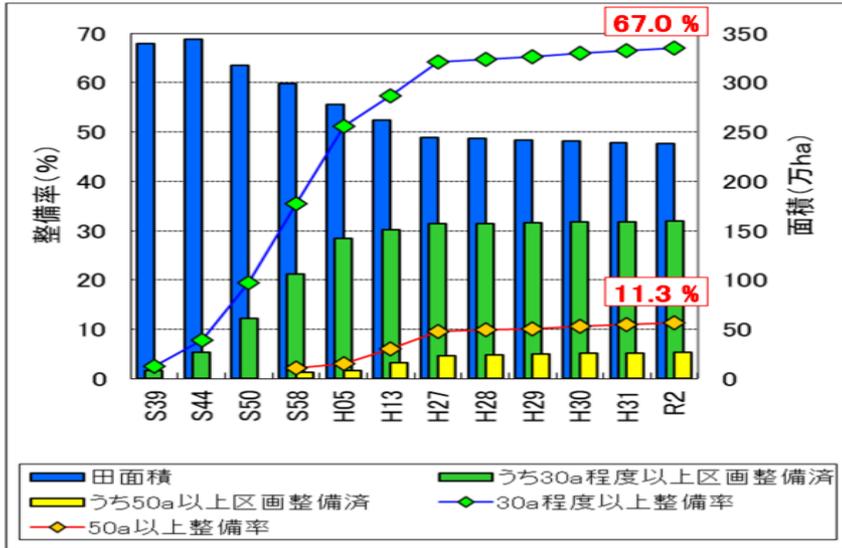


農業部門 農業農村工学 (その1)

●内容:かんがい排水施設、農地、農道、農地保全・防災施設及び農村環境施設に関する調査、計画、設計、施工、管理並びに農業農村整備に係る水利用、環境影響評価及び環境配慮に関する調査、計画、設計、実施その他の農業農村工学に関する事項

(農地整備)大規模農業の受け皿となるほ場の大区画化を進めるとともに、地下水制御や自動給水システムを導入し、生産性が高く需要に応じた作物選択が可能となる農地の整備を進め、食料自給力の強化を図ります。

新たなる国土の創造



資料:農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」(令和2年7月15日時点)、農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」(令和2年3月31日時点)



岐阜県揖斐川西部地区

*この55年間に30a程度以上の区画に整備された面積は159万haで、田全体の67%と着実に向上。そのうち27万ha(11%)が50a以上の区画に整備されている状況。生産法人等への農地集積を図り、農業の体質強化に貢献しています。